

初めての山歩き教室 実技 ⑤ (六甲山 ロックガーデン)

日 時：7月4日(日) 参加者数：32名 (内 教室生12名)

参加者：L：砂川 SL：山本 尾内・貝塚(文)・貝塚(陽)・狩集・北村・切貫・

荘所・須増・関山・高橋・中嶋・西村・開・長谷川(孝)・森川・渡邊(俊)

教室生：水上・蛭田・岡本・武田・佐々木・和田・原・嶋津・佐藤・坂田・坂田・
瀬尾

行動記録：阪急芦屋川 9:05～公園(ストレッチ) 9:13—9:25～高座の滝 9:45～風吹き岩
10:47—11:00～雨が峠 12:05—12:30～東お多福山 12:55～土桶割峠 13:08—13:13
～一軒茶屋 14:08—14:28～土桶割峠 15:23—15:43～東お多福登山口 15:58
～阪急芦屋川 16:04

★ ロックガーデンから最高峰へ

岡本

昨日は警報が出るほどの大雨、天気予報では今日も雨とか。誰もが雨を覚悟されたと思いますが、なんと晴れてしまいました。びっくりです。これも晴れ女の武田さんと瀬尾さんのおかげ？と感謝しつつ、最高峰まで登り切れるだろうかと、ぬぐえきれない不安をかかえながら、とりあえずは気分よくスタートです。

芦屋川のせせらぎの音を聞きながら歩く道は、高御位山の景色や雰囲気とちがって、またいい感じです。高座の滝のマイナス・イオン素敵！なんて思ったのもつかの間、岩だ



だらけのロックガーデンの洗礼をあび、やっぱり六甲山は甘くない！と、打ちのめされた感がありました。汗だくかくき、へばりそうになりながらも、みんな列で歩いているので、とにかく足を前に動かすしかないと、声をかけ合いながら何とか登って行きました。仲間と一緒に歩くということは大きな力です。特に知らない山では、もし置いていかれたらと

いう不安から、自分でも意外なほど更にパワーがもらえることをひしひしと感じました。

風吹き岩でイノシシとの対面があったり、コース途中にゴルフ場があったのも面白かったです。東お多福山での広々とした雰囲気も素敵でした。

土桶割峠からの最後の登りは、やはりきつかったです。でも不思議なことに崖や急斜面など危険な場所の歩きは、怖さがしんどさより勝るからなのか、きついと思う感覚さえも忘れ、無我夢中に歩いて通過した感じです。

この道は、一般の登山者が通る道ではないとのこと。一般の道でない所を踏破したことは、「初めての山歩き教室」に入ったお陰で本当に良かったなと思えた多くの中の一つです。自分だけでは一生かかっても、多分この道は歩けなかっただろうと思います。きつただけに、やっと登りきった一軒茶屋での、かき氷はやはり格別でした！！

六甲山の澄んだ空気、ときおり吹きくる涼しい風、小川を流れる水の音、小鳥たちの声、道々に見かける可愛い花など、山へおいでおいでよと誘ってくれているようでした。しんどいロックガーデンや黒岩尾根など、ここまで登りきったら気持ちいいぞと、挑発まじりに厳しく招いているように思いました。足をとにかく前に進める！

千里の道も一歩から・・・

しんどかったけど、充実した楽しい一日でした。サポートしてくださった先輩の方々や仲間の皆様に感謝です。

★ 梅雨の合間の六甲山行

山本

昨日の雨が嘘のように上がり、まずまずの登山コンディションだ。登山する人の待ち合わせで、いつも一杯の阪急芦屋川、梅雨の真っ只中とあってか、やや少なめの人、それでも山遊会のメンバーを見つけるのにキョロキョロしないと探し出せないくらいの人盛り、およそ50人位は居そうだ。

集合時間ギリギリに着いた私に代って、渡邊さんと尾内さんが参加者把握をしてくれている。今日の山行は「初めての山歩き教室」の受講生にとって最後の訓練登山、それをサポートする会員を募集したところ、教室生12名に対し会員が20名の構成となった。最近山行計画が少ない事や、昨年の終了山行で三の峰登頂が叶えられなかった前年度新入会員の今年の三の峰山行へのトレーニングも兼ねているようだった。

教室生は会長含み3名でサポートするとして、会員組と分けたグループで行く事とする。

公園で荘所さんの楽しく愉快的リードでストレッチを実施後、教室生組が先行して出発する。前日までの雨量で高座川の瀬音が涼しげに聞こえたが、高座の滝に着くまでに一汗かいてしまった。滝は水量が多く、たつぷりとマイナスイオンを発生していて汗をかいた体に気持ちいい。ここで大勢が休憩しているのを尻目に、こちらは滝前方の急登へと進む。休憩を必要としない教室生組は、なかなか元気で頼もしい。

気温は高いが幸い雲があって日差しが少ないだけ助かるが、それでも暑い。シャツもズボンもたちまち汗でベトベトになる。

もしこれにカップを着ていたらと思うとゾットする。思い起こしてみると、此处へ来た時は何時も雨か暑い真っ盛りかの時期で、気候の恵まれた時に来た記憶があまりない。だからと云ってそう悪い印象が残ってない。気候条件が悪い中であっても、あれだけの人が登って来るのは、六甲山の持つ不思議な魅力だ。ロックガーデンを登

り始めて、改めてこのコースの魅力を実感する。自然の岩場に人間の踏み跡が残した道であるが、その造形は素晴らしい。



少し気持ちに余裕を持って観察すれば、この自然の庭をもっと楽しめるであろう。

数回参加しているこのコースも、風吹岩を過ぎて雨ヶ峠までの道は確かな記憶がなく、逆コースから来る人がいるから間違いないだろうとアヤフヤリーダーが先頭に行く。

このコースは起伏があまり無く歩き易い所ではあるが、昨日までの雨の影響でドロドロ、一部水が流れている道もあり滑らないように慎重に歩を進めて行くと、程なく記憶のある雨ヶ峠手前のゴルフ場を横切る道に出て一安心。

峠では先に着いた教室生組が昼食中、食後は教室生組と一緒に出発。東お多福山で眼下の少し霞む街並みを見ながら下り土樋割峠に到着、川の水量は何時もより多めだ。

休憩の間に、それぞれが顔を洗ったり、タオルを水に濡らして体を拭いたりする。水温は結構冷たくて気持ちいい。ここからいよいよ最後の難関黒岩谷の登りだ。地図に載ってないこのマイナーなコースは行き交う人も少なく私の好きなコースだ。

だがそれだけに危険な個所も多く慎重な歩行を要求される。しかも昨日までの雨で土砂が緩んでいて条件は良くない。ここをゆっくりと確実に登って行く。突然、目の前に笹コリが出現、急登の道端なので本当に目と鼻の先に現れた、しばし咲く花に癒された後、「自動車の音が聞こえてくれば、

一軒茶屋に着き、かき氷が待ってるよ」と声を掛けながら進む。

心配していた最後の笹藪も乾いていて、ズボンが濡れることなく、無事一軒茶屋に到着、休憩中の教室生に「達者ですね」と声を掛けると、「いやバテバテですよ」と笑いながら返ってくるが、その声は余裕のある元気なトーンだ。

このコースを初めて歩く教室生、そして70歳過ぎの会員も含む皆さんの登行能力は、高くレベルも良く揃っていると感心する。

下山は、お決まりの石の宝殿から蛇谷北山ルート、ここでも行き交う人は殆ど無く、一気に土樋割峠に下山。峠でストレッチ後、

荘所さんが教室生の武田さんに「ゴキブリ体操」を指導、立ちっぱなし歩きっぱなしの後、血液が下がってしまっているから仰向けになって、ゴキブリがひっくり返った様に手足をバタバタさせると血液が体内に戻って循環が良くなり、足のむくみも無くなるとの事。理にかなっていると思い、一緒に実施してみると、なんだか足が軽くなった気がした。

尾内さんにバスの時間が4時過ぎだと聞かされ、それに間に合わせるべく急いで下山、30人も乗ると一杯になったバスで芦屋川駅へ戻る。有志で三宮に寄り賑やかな反省会となった。

➤ 平和国民大行進・・・参加者数のべ：10人

日	時：7月13日（火）	参加者：砂川(延)・渡邊(俊)・砂川(美)・切貫
	7月14日（水）	参加者：砂川(延)・渡邊(俊)・上田・松下
	7月15日（木）	参加者：砂川(延)
	7月16日（金）	参加者：砂川(延)



★ 平和行進に参加して

切貫

わっ平和行進は5月6日、東京[夢の島]を出発し、被爆地[広島]まで平和を祈っての行進だ。

この平和行進を30年位前、新聞で見た時から参加したいと思っていたが、思うだけに終わっていた。昨年、高御位山遊会でも参加している事を知り、参加をと思ったが、やはり思うだけで終わった。今年は思いきって参加する事にした。

7月13日、高砂市役所の駐車場に行くと人がいなく、もう出発してしまったのか不安な気持ちで玄関の方へ廻ると、砂川さん夫妻の姿を見かけホットする。

出発式では、東京[夢の島]から歩き通された参加者(すごい!)の紹介があり、

4千羽の鶴を手渡しされた後、いよいよ私の未知の経験に出発だ。

今日の行程の姫路大手門広場前までの20kmを行進中にも、募金をするために家の前で待っていてくださる人がいたり、何ヶ所かの休憩時には、お茶・飴・ゼリー等の差し入れを頂いたり、初めての風景に感動しながら、ゆっくりの行進なので疲れはなかった。この平和行進に参加して、まだ戦争の苦しみを忘れずに持っている沢山の人がいる事を改めて認識させられ、平和ぼけの現状に浸かっている自分を反省する。

戦争は、どんな理由があろうとも絶対してはならないと思う。有意義な1日だった。